

私たちの一票

第4号

みんなの願いきれいな選挙

平成20年5月21日発行
四日市市明るい選挙推進協議会
(諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



成人式での啓発（文化会館）

名に恥じない明推協に

四日市市明るい選挙推進協議会会长 高橋 佳子

現代社会がどんどん成熟してゆく中で、物質的には随分豊かになり、これからは、心の豊かさが求められます。

私たちの住む郷土四日市を、私たちの手でよくしていくなければなりません。とりわけ、選挙は、民主主義の基盤をなすもので、投票行動に結びつけなくてはなりません。

私たちの啓発活動によって、より多くの有権者に投票参加を訴えます。

私たちの明るい選挙啓発は、投票への総参加と①贈らない②求めない③受け取らないの3本柱で活動しています。これらを実践することによって、さらに政治意識の向上を図らなくてはなりません。

投票率も昭和26年の9.2%を最高に、近年はその半分近くまで落ちています。私ひとりぐらい投票しなくても、と言う人まかせの考えが多いのです。

我が明推協は、幸運にも先進都市として全国から注目され、研修会、とりわけ東海・北陸ブロックの指導者たちは、教材として紹介されています。これも毎年のモデル地区の指定、年間100回を超える常時啓発、地域の特色や新しい発想による諸活動のおかげで、委員の皆さま方のたゆまぬ努力の成果であり、ありがとうございます。

今年は委員の改選期であり、退会される皆さまは本当にありがとうございました。新委員の皆さま方のご活躍を期待しています。

今後ともなお一層の温かいご支援と力強いご協力を心からお願いします。

明るい選挙推進運動のこれから

四日市市選挙管理委員会委員長 市橋 愛爾

平成19年は統一地方選挙と参議院議員選挙と選挙の多い年でした。明推協の皆さまには、期日前投票所や当日投票所での投票立会人として、また、街頭での啓発活動で大変お世話になりました。無事選挙を執行することができましたのは、皆さまのお陰と心から感謝しております。

明るい選挙推進運動は、三ない運動というクリーンな選挙を目指して始まった運動ですが、最近は、時代のニーズに応えて、投票率の向上に主眼を置いた活動にシフトしてきています。

投票率は、一般に、天候、政策の争点、立候補者の顔ぶれ、制度の周知等様々な要素により、左右されるといわれていますが、委員の皆さんの中ごろからの地域での啓発活動があつてこそ、投票率の向上に繋がるものだと思います。幸い、四日市市には、地域にしっかりと根付いた明るい選挙推進協議会があり、その活動は全国から注目されています。

本年は委員の改選の年ということで、今回で退会される方には、多くの活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。そして新たに委員になられる方にとって、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上に向けて、さらにこの活動を発展させるために、がんばっていただこう期待しています。

三泗地区指導者研修会に参加して

中部地区 水谷 謙之

平成19年11月5日川越町役場において、三重県明るい選挙推進連合会三泗地区指導者研修会が行われました。

研修の内容は「明るい選挙の推進・寄附の禁止」と題し、三ない運動の徹底、寄附の定義、罰則等について受講しました。

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されており「三ない運動」については

- 1 贈らない ····· 政治家は有権者に寄附を贈らない
- 2 求めない ····· 有権者は政治家に寄附を求める
- 3 受け取らない ····· 政治家から有権者への寄附は受け取らない

これらは、私たちの日常生活、地域社会で身近に発生しやすいことがらであり有意義な研修でした。

寄附禁止のルールを守って明るい選挙を実現したいと思います。



三泗支会研修会(川越町役場)

コミュニティリーダ養成研修会に参加して

小山田地区 萩 伸元

平成19年11月2日コミュニティリーダの養成研修会が、金沢市のガーデンホテル金沢で行われました。県地区の立石善造幹事と共に、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重の6県から29名が受講しました。

テーマは、(1)若い世代に投票させる妙案、(2)明るい選挙と地域活動の連携策など4項目をKJ法(自分の考えをカードに書き、似た内容をくくり、新聞紙の大模造紙に貼る)を使って、グループごとにいろいろな考えを出し合いました。

研修によって、決定的な妙案ができるものではなく、日ごろから地道に続ける啓発活動が、やがて実を結ぶ時が来る、とのまとめでした。

私たち四日市市における明推協の啓発活動は、全国的にもトップレベルであると、研修仲間の東海北陸ブロックのリーダーから聞き、高橋佳子会長の長年のご尽力のたまものと敬服し、誇りに思い、心豊かな気分になった心地よい研修でした。

モデル地区になって

河原田地区 山田 真美子

河原田地区は、春は桜祭り、夏は各地区盆踊り、秋には文化祭が催されます。去年からは市民緑地公園事業で竹林整備および竹炭作りに挑戦しています。

明るい選挙推進協議会委員が河原田地区社協にも携わっているので啓発物品を配布するのに苦労はありません。まず子供対象の事業に出向いて、折紙を配布するとともに、その親に対しては選挙への参加呼びかけを実施、桜祭り、竹炭販売の際には折紙やティッシュを配布、夏は4地区の盆踊りの参加者にうちわを配布、このうちわは、毎年好評ですぐに無くなるほどです。

これからも委員一同、どうすれば一人でも多くの方が投票に参加していただけるか、考えていきたいと思います。



12月強化月間での啓発活動(アピタ前)

モデル地区を終えて

橋北地区 山本 江里子

橋北地区は、人口約5,900人、有権者数約4,900人で、明推協委員は、東西2地区から2名ずつの4名で活動しています。

今年は、モデル地区の指定を受け、6月に地区会議を開き、地区社協や新地域社会づくり委員会などの行事に併せて、1年間の啓発活動の計画を立てました。先ず選挙管理委員会の方と小・中学校へ、選挙啓発ポスターの依頼に行きました。夏の納涼大会では、うちわを配り、秋の大運動会では傷テープやウェットティッシュなどを配りました。そして、ふれあいまつりでは、中学生の選挙啓発ポスターの応募作品を展示し、各委員さんの協力でモデル地区としての啓発活動を実施することができました。

今後も、地区委員さんと協力して明推協活動に取り組んでいきたいと思っております。

企画委員会委員長 真川 勇

四日市明るい選挙推進協議会は、24地区138名で明るく正しい選挙啓発と投票率の向上を目的に各地区独自の啓発活動をしています。

企画委員会は、各種事業、啓発物品等の見直しを図るために、平成18年9月委員7名で活動を開始しました。

行政の予算が年々削減されていくなかで、毎年の事業計画、啓発物品の種類等の見直しが不可欠となり検討を重ねました。また、明るい選挙推進協議会の事業の柱であった「はたちのしおり」の個別配布は、法律改正および予算の減少等により中止しました。「はたちのしおり」に変わる事業について、現在も検討をしています。

啓発物品の種類や各地区への配布方法の検討については、限られた予算の範囲内により効率の高い啓発ができるようにと、24地区を4ブロックに分けて懇談会を開催しました。

役員の意見、要望を集約した結果、啓発物品の地区配布は平等がよいとの意見が多数でした。一方で、地区人口の多い地区、啓発事業の回数および地区行事への参加者数の違いにも考慮する必要があるという意見もあり、新たなルールの作成を手がけています。地区への啓発物品の配布について一定のルール化をはかり、各地区での啓発活動がスムーズにできるよう、より一層の各地区役員の皆さんのご意見ご協力をお願いします。

選挙標語に応募して 三重地区 山本 高三

広報編集委員会の席で、過去に行われた選挙標語の入選回数が多いのは何か抑えるポイントを心得ているのではないか?と尋ねられ、一筆したためることとなりました。

てくだ

しかし、これといった手管があるわけではなく、皆さんと同様頭に浮かんだ句を書き留めておき、よいと思しきものを選んで応募しています。

あえて着眼点のようなものと申しますならば、次のようなことでしょうか?

- 1 浮かんだら、まず書き留める。(同様のものをいくつも書き並べて比べる。)
- 2 ことばの位置を検討する。(ことばの前後の位置を変えたり、言葉を入れ替えて語調をよくする。)
- 3 訴求力のある語を選ぶ。(言葉を入れ替えて、よりパンチの効いたフレーズにする。)
- 4 書く労をいとわないで何度も書き直してみる。(その点ではPCやワープロを使用すると至極便利です。)
- 5 時間をおいて読み直す。(後日見直してみると、直したい点が見つかるものです。)

こうして推敲します。

ご参考に、最近私が応募した標語と啓発統一標語を掲げると次のとおりです。

区分	応募総数	啓発統一標語と応募した標語	
第15回 統一選挙	428点	啓発統一標語	あすの三重 あなたの1票 生かすとき
		応募した標語	あすの三重 あなたの1票 生かすとき(特選) この1票 あなたが拓く あすの三重(入選)
第20回 参議院	322点	啓発統一標語	この1票 政治を動かす 大きな力
		応募した標語	この1票 三重の未来を ひらくかぎ(入選)
第16回 統一選挙	548点	啓発統一標語	選びます すてきな三重にしたいから
		応募した標語	決めた! 三重のあしたを まかす人(入選)

日本の未来をつくる
あなたの1票



平成20年度四日市市明るい選挙推進協議会新委員

平成20年5月21日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
中部	須賀 亮一	羽津	森 香英子	内 部	清水 芳則	神 前	中野 町子	八 郷	渡邊八重子	保 々	山川 憲夫
	水谷 謙之		久志本正彦		土井 靖子		堤 初子		石田 隆子		相馬 みね
	豊田百合子		川村 憲一		新開 昇		眞川 勇		伊藤 義昭	水 沢	田川 壽一
	刑部 清子		堀 桂子		堀 よしみ		渡邊 敏弘		水野 昭男		上村れい子
	飯田 剛生		別所 春代		水谷 隆		渡邊佳世子		山尾 和子		田中貴美子
	三日市 存		後藤 俊子	磐 島	山村 好美	坂井 正紀	下 野	日置 得祐		田中 夏子	
			谷崎 滋夫		小宮 計祐		芳山 昇	豊田かつ子			
			初田 友子		村木 岩和		服部幸一郎	須原 皓			
	名倉 忠昭		久保田 怡		粕谷 恵子		川北 真輔	野原 幸二			
	亀井 直留		田中 資郎		伊藤 恵子		服部 善男	筒井美知子			
富洲原	高橋 治	日 永	小林 幸子	小 山	萩 伸元	加藤 裕久	大 矢	伊藤 清隆		笹原 久子	
	伊藤 盛恵		寺本都美子		須藤 愛子		西脇 忠英	三宅 恵子	豊田かつ子		大河内暁子
	高橋 佳子		鏡 澄子		中村 實		竹内喜三男	林 純子	須原 皓		森 繁春
	早川多津子		田中喜代子		川島 敬子		中島 幹雄	中村須美子	野原 幸二		渡邊柳一
	林 玄雄		坂下 悅子		北尾 喜子		野田 雅春	渡邊 治	筒井美知子		福田 知子
富田	渡邊 勇子	四 郷	井上 敏夫	川 島	宮城 啓子	田 中	田中 進	伊藤 清隆		山本江里子	
	林 正雄		古川とし子		小林 三弘		山本 恵一	三宅 恵子	豊田かつ子		諸岡 彌
	荒木 勇美		加藤喜代子		中村久美子		立石 善造	林 純子	須原 皓		塚脇 大仁
	渡邊佳代子		後藤 良子		青木 八重		市川 春吉	中村須美子	野原 幸二		服部 富子
	山下 英		広森 義昭		奥田かなえ		水谷 秀子	渡邊 治	筒井美知子		
羽津	尾崎久美子	館 法夫	鈴木 敏夫	県		河 原	山田真美子	伊藤 清隆		新屋 正紀	
	山田 明美		川村きさ代				今村 亘	三宅 恵子	豊田かつ子		矢田 實
	寺村喜久男	内 部	山口 敏樹				大平さなえ	林 純子	須原 皓		家城 進
							高橋 艶子	中村須美子	野原 幸二		加田 洋志
							田中 啓之	渡邊 治	筒井美知子		川合 弘吉

おつかれさまでした



北岡 泰一(中部) 北畠 裕子(中部) 井上 忠(中部) 橋本 勝(富洲原) 粥川謹二郎(四郷)
 真柄 昭弘(四郷) 藤田 紀美(四郷) 東川 満(内部) 小川三枝子(塩浜) 西村 和代(塩浜)
 後藤 和弘(桜) 近藤 晃(桜) 鈴木 菖子(神前) 石崎由香利(神前) 岡本 正夫(神前)
 山本 高三(三重) 小島 正司(三重) 服部 満(三重) 服部 正光(三重) 後藤 好孝(三重)
 小林美津子(県) 手賀 衛(下野) 蝶波 稔子(河原田) 相馬 良則(保々) 山川 桂子(保々)
 原 源昭(水沢) 豊田 早男(水沢) 豊田 宗浩(水沢) 中川みき子(水沢) 杉野 一三(海蔵)
 児島あや子(海蔵) 春日部重代(海蔵) 曽根美代子(海蔵) 水谷 浩旺(海蔵) 石川 琢己(楠)
 田中 敏章(楠)

委員長 萩 伸元(小山田)

委員 川村 憲一(常磐) 水谷 謙二(中部) 山本 高三(三重) 鈴木 稔(富洲原) 石川 琢己(楠)

あとがき

- 〇 本年は、委員の改選期。平成も早や“はたち”に入り、折しも市制111周年の年となりました。
多くの委員の皆さまのご支援と選管職員のお骨折りで第4号ができました。心から厚くお礼申し上げます。
- 〇 昨年は選挙の当り年でした。皆さまには期日前投票所、投票所の立会人として大役を果たされました。
今回の統一地方選挙から期日前投票所が1箇所増設され、多くの投票立会人が必要となりましたが、皆さまのご協力のお陰でスムーズに選挙が行えたと市選管委員長からお礼がありました。
- 〇 全国からの注目は、地域にとけこんだ地道な活動であり、今後もリーダー格の名に恥じないよう、新しい思考の展開を忘れず、会長を中心に力いっぱいがんばり、先頭を走り続けたいものです。

